

成年となった明仁皇太子

・ 立太子礼

本来は 1951 年実施、貞明皇后死去に伴い翌年に

「親しみある皇太子」の教育

立太子礼：独立後初の国家的儀式

・ 昭和天皇退位論の再浮上

中曽根康弘／矢部貞治／市川房枝

成年となった皇太子の存在

講和独立という最終機会

明仁皇太子外遊

・ なぜ皇太子は外遊したのか

イギリス・エリザベス女王の戴冠式への招請

立太子礼当日の発表

皇太子への教育的効果／「新生日本」の表象

・ 西ドイツ訪問問題

当初は訪問国にリストアップされず→外務省官僚からの意見

西側諸国の連携を図るための外遊

・ マスコミ対策

伝えられる皇太子像を意識

熱狂するマスコミ

戦争の記憶をほとんど伝えず

創られる像

まとめ

・「新生日本」の表象として

・若さや清新さのイメージを持った皇太子像

参考文献

- ・河西秀哉『天皇制と民主主義の昭和史』（人文書院、2018年、第五章3・第六章1）
- ・波多野勝『明仁皇太子エリザベス女王戴冠式列席記』（草思社、2012年）